

外観



1998年に多摩都市モノレール線開通と同時に開業。相対式2面2線ホームをもつ高架駅。

改修前



完成から16年経過し、より多くのお客様に快適に駅をご利用頂くために、トイレのリニューアルを行いイメージアップを図る検討を行った。

女性トイレ 洗面コーナー



既設のカウンタータイプから壁掛ハイバック洗面器への改修により省スペース化、洗面まわりの動作空間を確保している。洗面器横には傘などをかけるフックを設置。

女性トイレ 大便器ブース



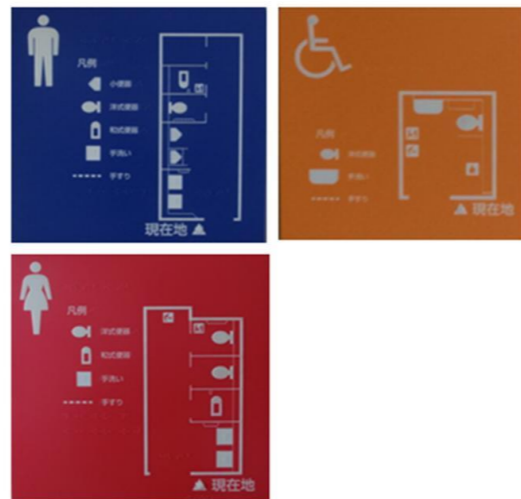
床の清掃性に優れた壁掛式大便器と洗浄はセンサースイッチ、音姫(擬音装置)を採用。男女トイレ共に、1ヶ所ずつ和式便器を設置して便器まわりの床にはにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置している。

トイレ入口



トイレ入口のサインはわかりやすく大型化して視認性を向上させている。トイレ内の設備も表示している。

トイレレイアウト



トイレ入口にはトイレレイアウトを表示して利用者に配慮。視覚障害者の使用を考慮し、点字も表記している。

多機能トイレ



既設の多機能トイレスペースを拡張。車いす使用者やオストメイトの方など、さまざまな使用者に対応できる設備を完備。

多機能トイレ



ベビーシート、ベビーチェア、フックも完備しており、小さなお子様連れの方などにも配慮している。

男子トイレ 全体



白と濃い木目柄を基調として、落ち着いた空間を演出している。照明はLEDダウンライトを採用。

男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性や節水性に優れた壁掛式低リップタイプの小便器を採用。足元には尿の飛散などに配慮した清掃性の高いハイドロセラ・フロアPUを設置している。

建築概要

名称	多摩都市モノレール 桜街道駅 トイレ改修
所在地	東京都東大和市上台北三丁目470
施主	多摩都市モノレール株式会社
設計	TOTOアクアエンジニアリング株式会社 設計部
施工	TOTOアクアエンジニアリング株式会社 東京支店
竣工年月	(改修)2014年9月

水まわりの特長

<改修の経緯>
1998年に多摩都市モノレール線開通と同時に開業。完成から16年経過し、より多くのお客様に快適に駅をご利用頂くために、トイレのリニューアルを図る検討を行った。「明るく、清潔感のある快適なトイレ」をコンセプトにトイレの改修工事を実施した。

<トイレの特長>
高架駅で階下工事が困難であり、作業時間も限られているため、床上配管と短工期が特徴であるライニングユニットを採用した。クリーンな空間を維持できるよう、機能性や清掃性の高い商品を多く取り入れ、また湿式から乾式へ清掃方法の変更を提案して採用に至った。設備の更新にあたっては「各所壁掛けタイプの器具を採用した省スペース化や動作空間の確保」「多機能トイレの空間拡張による多彩な機能の充実化」「節水器具やLED照明を採用した環境への配慮」をポイントにした。